

2014年度「グッドデザイン大賞」候補9件を発表

公益財団法人日本デザイン振興会（会長:川上元美）は、主催事業であるグッドデザイン賞の2014年度「グッドデザイン大賞」候補を10月1日に発表しました。

「グッドデザイン大賞」はその年のデザイン・オブ・ザ・イヤーに相当するデザインとなりますが、すべてのグッドデザイン賞受賞デザインの中で特に高く評価された100件である「グッドデザイン・ベスト100」の中から、時代性や象徴性などの観点に基づき、全9件の大賞候補が選出されました。これら候補9件に対して、今後グッドデザイン賞審査委員と本年度グッドデザイン賞受賞者、受賞展「グッドデザインエキシビション2014」（G展）来場者による投票を実施して「グッドデザイン大賞」1件が決定します。なお本年度の「グッドデザイン大賞」の決定と発表は11月4日（火）を予定しています。

受賞番号/14G050384 4K超短焦点プロジェクター 4K超短焦点プロジェクター LSPX-W1 ソニー株式会社

<概要>

リビングなどの日常空間に新たな体験「Life Space UX」を創造する第一歩として、これまでにない映像体験を提供する4K超短焦点プロジェクターです。最大147インチの大画面映像を壁に投影でき、普段は何もない壁を全く別の世界に変え、あたかもそこにいるかのような没入感と迫力の映像体験が得られます。特殊な工事は不要で、壁際に設置するだけで臨場感あふれる大画面映像を楽しめます。家具モジュールを基本としたサイズと、水平・垂直を基調としたシンプルなデザインにより、インテリアに違和感なく溶け込む佇まいを目指しました。本物にこだわった質感は、投影しているときもしていないときも、所有する喜びを提供します。

<評価点>

超短焦点レンズを駆使した4Kプロジェクターである。普段の壁面が巨大なスクリーンとなり、リビングがシアターへと変容するその一瞬が、この製品を所有する人の大きな喜びとなるであろう。そのためには、普段の佇まいはあくまでも高品位なインテリアプロダクトでなくてはならず、モダンでシンプルな造形は細部に至るまで配慮がなされている。それはフォルムに留まらず、素材の選定、仕上げの完成度、さらに各部動作の滑らかさにまで及び、デザイナーとエンジニアが価値観と目標を高次元で共有し開発を進めた証しであろう。



14G050396 デジタルカメラ dp Quattro 株式会社シグマ

<概要>

シグマdpシリーズは、フィルムライクな層構造ですべての光情報をそのまま取り込める世界唯一のセンサー、Foveonを搭載している。垂直色分離方式センサーが生み出す圧倒的に豊かな色の階調は、目で見る質感と同質の表現力を持ち、単調なモノトーンのグラデーションであっても、破綻なく色再現することが可能である。あらゆる構成要素を徹底的に検証し直し、シグマの哲学である「作品づくりのためのカメラ」への方向性を先鋭化させ、本格的な芸術表現をより身近にするための本質性能だけに特化して磨き、生まれたのが、dp Quattroシリーズである。

<評価点>

コンパクトデジタルカメラの世界に新しい基軸を打ち出したデザインに評価が集まった。これまでどこにもない横長フォルムと高性能レンズの構成は実は両手に構えるとしっかりと被写体を捉えることが出来る。バッテリーが収まっている右手用のグリップは手にしっかりと馴染む。そして横長の分、背面の液晶モニターが指に邪魔されることがなく、親指で操作する背面の4つのボタンは余裕ある配列で使いやすく美しい。このフォルムが生み出した液晶画面とインターフェースの見やすさも評価が高かった。絞リや露出補正のダイヤルも指と一体感のある設計である。なによりカメラのデザインをプロダクトデザインとして再定義した意義あるデザインである。



14G060430 ダイニングチェア KISARAGI 飛騨産業株式会社

<概要>

世界初、杉圧縮柱目材を活用したダイニングチェア。日本の固有種である杉を家具用途に耐えられる強度を持つ材とするため圧縮技術を導入した。さらに杉ならではの凛とした空目の魅力を活かすため、世界初となる杉圧縮柱目材を開発した。美観、強度、掛け心地に優れる『KISARAGI』にはカービング、接合、座彫り、ロクロ加工などの高度な木工技術が駆使されている。座面は板座と張座を選択できる。

<評価点>

日本で生産される木製椅子のほとんどが国外木材を使用している。日本には戦後植林された杉が各地にあるが、強度が弱いため家具の制作に適さない。今も家具に活用するための模索が各産地で続けられている。この椅子に使われている柱目圧縮材は、独自の圧縮技術を用いて家具用途に耐える強度を得ることに成功させた。繊細かつ洗練されたデザインを、さまざまな木工技術を駆使して実現させている。国産杉による日本の木工技術の高さをハイエンドの椅子のデザインから感じさせることができる。



14G070580 産業用ロボット 医療医薬用ロボット VS050 SII

株式会社デンソー+株式会社デンソーウェーブ

<概要>

本製品はクリーンルームなど滅菌環境下での作業を想定した産業用垂直多関節ロボットです。主に食品や医薬品、半導体などの製造工場で使用されます。滅菌環境下という特殊な環境に適応するため、従来からの防滴、クリーン技術にプラスして、滅菌洗浄に耐性のある表面処理を施しています。先端にアダプターを装着することでさまざまな作業にフレキシブルに対応し、生産工場の自動化・省力化に貢献します。

<評価点>

製薬、食品の製造ラインに導入するための機械には、ハイレベルの衛生状態維持が必要となる。それに対応するために、滑らかな表面形状を採用し、あらゆる溝や穴を埋め、関節部断面を正円とすることで、段差や隙間を消し去った。過酸化水素ガス洗浄に対応するために表面は塗装ではなく磨き上げ処理が施された。衛生上の要求を正面から満たした結果、未来的な存在感を備えることとなった。



14G090723 電動アシスト車いす JWスウィング

ヤマハ発動機株式会社

<概要>

軽量、コンパクト、かつスマートな電動アシスト車いす。ユニットの着脱や折りたたみをワンタッチですることができ、クルマへの積載も楽にできる。付属の専用ソフトにより使用者の身体状況や使用環境に合わせて最適なアシスト力を設定できるほか、2種類のパラメーターを記憶させてボタン一つで切り替えが可能。足元にゆとりを持たせたフレームワーク、腰部にはサポートベルトを設け、骨盤を保持することにより姿勢保持がラクになり、安定して軽快に漕ぐことができる。

<評価点>

電動アシスト自転車での実績を活かした、アシスト車いすである。室内はそうでもないが、一步外に出れば、道は傾斜だらけであることに気付く。そんな現状をスマートに克服する。インホイールモーターゆえに折り畳みも可能。また自分の好みのイスを取り付けることもできる。左右の腕力の違いを左右のアシスト率の調整でバランスできる。完全な電動とは違い、自らの力で移動する元気をアシストする道具である。



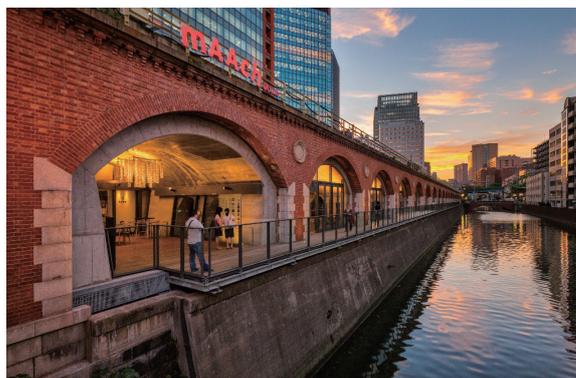
14G110916 商業施設 マーチエキュート神田万世橋
株式会社JR東日本ステーションリテイリング+公益財団法人東日本鉄道文化財団+株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所+みかんぐみ

<概要>

マーチエキュート神田万世橋は、中央線の起終点として1912年（明治45年）に開業した旧万世橋駅の鉄道遺構をリノベーションした商業空間です。2013年9月に約100年の時を経て人々の集う施設としてよみがえりました。繁栄を極めた明治から大正時代にかけての万世橋駅界隈に、文化人が集う「サロン」をイメージした「万世橋駅サロン」をコンセプトに、神田須田町エリアから周辺地域の文化、情報を発信していきます。また、「マチとのコトづくり」をかかげ、地域と連携し、共に発展していく商業施設と位置づけています。レンガ高架橋の美しいアーチ空間を残し、極力手を加えないシンプルな構成となっています。

<評価点>

長らく使われることなく放置されていた旧万世橋駅が、単なる改築にとどまることなく魅力的な商業施設として再生され、「サロン」がまさに生み出されている点が素晴らしい。水面に向かって解放された空間や、線路敷きに隣接するプラットフォーム状の空間など、周辺の空間資源を適切に用いたデザインが、デザイナーの確かな手腕と深い洞察とを感じさせる、質の高い仕事である。市民からも好感を持って受け入れられている点も高く評価したい。



14G110957 バス待合所 秋田駅西口バスターミナル
秋田中央交通株式会社+秋田公立美術大学+ナグモデザイン事務所+小野寺康都市計画事務所+WAO渡邊篤志建築設計事務所+間建築研究所+有限会社花田設計事務所+中田建設株式会社

<概要>

秋田駅西口バスターミナルは、秋田杉をふんだんに使った木造のバスターミナルです。日本三大美林の一つに数えられ、全国一の蓄積量を誇る秋田杉を活用し、県都秋田市の玄関口にふさわしい「お客様をおもてなしする空間」として、木の可能性を全国にアピールするとともに、秋田駅前の景観向上にも貢献しています。

<評価点>

木質による、ほのぼのとした温かさと風合いを感じさせる、「ここでバスを待つてみたい」と思わせるバス停の計画である。これまで多くのデザイナーがチャレンジしてきた対象であるが、ここでは国産材利用が低迷する状況に対して公共インフラへの木材利用可能性を示すかのごとく、これまでのバス停留所デザインとは全く異なった世界観が木材の適切な利用によって打ち出されている。見て美しいだけでなく、バスを待つ間に流れる時間や、バスを待つ見知らぬ人々と言葉を交わすシーンが目に浮かんでくるような「使ってみたくなる」バス停が生まれている。単体の美しさも特筆すべきだが、群となり駅前のバスターミナルを形作る姿も、集落のように暖かく美しく、これまでの同種の施設と一線を画している最適なデザインである。



14G141138 活動 無印良品 Found MUJIの活動
株式会社良品計画

<概要>

Found MUJI とは、社内スタッフが世界中に足を運んでリサーチし、無印良品の価値観の下にさまざまな日用品を探し出す活動のことです。その商品はFound MUJI青山を旗艦店に、限られた店舗で販売をしています。また、世界各国でのリサーチ結果を商品開発に活用し、習慣の変化に合わせて改良した日用品を無印良品の定番商品として生産、販売しています。

<評価点>

大規模生産を追求してきた日本のものづくりはすっかり成熟し、価格や品質を超えた「モノの価値」が問われる時代になった。そんな中で、無印良品は「つくる」ではなく「見つける」ことの大切さに回帰している。効率のために捨てるを得なかったローカリズム、長く受け継がれてきた技術や伝統を取り戻す作業とも言えるだろう。時代も国境もこえて、改めて「良品」とは何なのかを問いかける姿勢に、成熟した現代におけるものづくりの未来を感じる。



<概要>

東北食べる通信は、地方の生産者と、都市に住む生活者の間の断絶を解消し、双方に「継続的なつながり」をもたらすために創刊された世界で初めての“食べる月刊情報誌”。毎号、東北の熱心な生産者にクローズアップし、付録として、彼らが作った実際の食べ物をつけて会員宅にお届けしています。会員たちは、その食べ物を使った料理をFacebook上のコミュニティに掲載。それを見て生産者がコメントするなど、食べる通信をきっかけに両者の交流がスタートし、農作業を手伝うなどの交流会が自発的に行われるまでになりました。会員数は1000名を突破。四国や北海道、東松島でも食べる通信が創刊されることになりました。



<評価点>

食べ物を毎月届く月刊誌の形式とし、東北地方の生産者と都市部の生活者を繋げる取り組み。情報と食が合わさることにより「食べる」という行為にさらなる価値を生み出している。雑誌記事とデザインのクオリティが高いため、人の心へ訴える力が強い。いまでは生産者のファンができ、都会から現地へ足を運んだり、ファン同士のネットワークも拡がりつつあるという。他の地域でも展開可としており、今後の発展が大いに期待される。

2014年度「グッドデザイン大賞」候補の詳細情報とビジュアルデータについて

各候補作のデザインの特徴やデザイナー名などの詳細情報：

<http://www.g-mark.org>

グッドデザイン賞ホームページ/トップページ

「受賞対象一覧」→「詳細検索を表示」→「キーワード」欄に本リリースに記載の受賞番号を入力して検索してください。

各候補作のビジュアルデータ：

<http://www.jidp.or.jp/media/pressrelease/2014/index.html>

公益財団法人日本デザイン振興会ホームページ/MediaCenterページ

MediaCenterページ内の「ダウンロード」ページから写真データのダウンロードができます。IDとパスワードが必要です。ページの指定に従ってアクセスしてください。

今後のグッドデザイン賞のおもなスケジュール

10月1日以降、受賞デザインをテーマとするプレゼンテーションや展示、特別賞発表などを順次実施してまいります。詳細はグッドデザイン賞ホームページをご参照ください。

10月4日(土)～25日(土)：「私の選んだ一品2014」展 会場/東京ミッドタウン

10月11日(土)～13日(月/祝)：グッドデザイン・ベスト100デザイナーズプレゼンテーション 会場/東京ミッドタウン

10月31日(金)～11月4日(火)：グッドデザインエキシビジョン2014 (G展) 会場/東京ミッドタウン

11月4日(火)：「グッドデザイン大賞」ほか特別賞各賞発表 会場/東京ミッドタウン

※ 上記のスケジュールは今後変更になる場合があります。

一般からのお問い合わせ先

公益財団法人 日本デザイン振興会 グッドデザイン賞事務局

電話：03-6743-3777 info@g-mark.org

報道関係のお問い合わせ先

共同PR株式会社 担当：宇津木、中里、横山

電話：03-3571-5238 FAX：03-3571-5380